

2022.12.22

25周年を記念し、様々な行事を実施しました！
今年5月から9月に行われた行事をご紹介します。

写真とともに
振り返って
みるモウ～！

令和4年4月29日（金）



祝！開館25周年



令和4年5月1日（日）

パセオ・ダイゴロー2階の京都市醍醐交流会館にて、京都市歴史資料館館長 井上満郎氏をお招きし、「古代京都の中心道路が通る醍醐ー山背道の歴史と文化ー」と題してご講演いただきました。

醍醐を横断する山背道には、当時の政治の中心地であった奈良へつながる役割だけでなく、その先の日本海から海外へつながる外交としての役割もあったというお話が印象的でした。ご参加いただいた方は身近な伏見・醍醐の歴史に興味深く聞き入っていらっしゃる様子でした。講演後は「もっと詳しく聞きたい。」「また参加したい。」というお声をいただきました。



令和4年6月19日（日）

6月の名画上映会は、開館25周年を記念したスペシャル名画上映会「みんなニコニコ喜劇祭り」。

“笑い”をテーマにした午前の部では、バスター・キートンとハロルド・ロイドのサイレント・コメディ「文化生活一週間」「ロイドの要人無用」の豪華二本立てを、午後の部では、「マダム・フローレンス～夢見るふたり～」を上映しました。会場がたくさんの笑いにつつまれた和やかな上映会になりました。



令和4年8月20日（土）

京都市山科区にある洛和会京都厚生学校の副校長 三森佳奈氏をお招きし、講演会「地域と看護 ナイチンゲールの夢～看護師養成の視座から～」を開催しました。

看護師を目指されている方はもちろんのこと、看護の基本・姿勢について、看護師としての目線でお話いただきました。

ナイチンゲールが生きていた時代では、看護の基本である清潔さ、適切な食事などを得ることが難しい看護でした。

その中で、必死に命を助け看護に向き合ったナイチンゲール。

洛和会京都厚生学校では、次世代のナイチンゲールの卵が教育を受け育っています。医療における看護の大切さを学べる講演会でした。



令和4年8月27日（土）

立命館大学落語研究会のご協力で「大人も子どもも楽しもう落語 醍醐味寄席」を開催しました。司書による落語絵本の読み聞かせ「いちばちじゅうのもおくもく」のあと、立命亭飴味（りつめいてい あめみー）さんの「牛ほめ」を上演していただきました。大人からも子どもからも笑い声があがりました。終了後のアンケートでは「もう一席、聞きたかった！」との声も多く、大好評でした。



令和4年9月23日（金・祝）

京都大学学術出版会コラボ企画「キリンはかせ さいとう先生がやってくる！わくわくおはなしと工作」を開催しました。日本でただ1人の野生キリンの研究者・齋藤美保先生の「キリンのおはなし」を聞いたあとは、あかちゃんキリンのプラバン工作です。子どもたちが自由にのびのびと色付けしたキリンに名前を付け、「キリンの名前発表会」も行いました。色とりどりのキリンに大人たちは拍手喝采でした。



次回は10月から12月の行事を紹介予定だも～！

